

気候変動問題への取組み

Jブルーコンクリートによる藻場造成プロジェクト（海藻類による炭素隔離・貯留）



J-POWER茅ヶ崎研究所では、若松総合事業所と共同で石炭灰と銅スラグを主原料としたコンクリート代替素材“Jブルーコンクリート”を用いて、藻場造成効果を高めるための技術開発に取り組んでいます。この素材を用いた消波ブロックには豊かな藻場が形成され、CO₂吸収・固定効果を「Jブルークレジット」として2021年度に民間施設で初めて認証取得し、2022年度も継続して取得しました。なお、このコンクリート代替素材は事業活動による副産物を再利用し、セメント使用量の削減（低炭素化）にもつながります。

※Jブルークレジットは、国土交通省により設立認可されたジャパンブルーエコノミー技術研究組合（JBE）が認証・発行するものです。

また、豪州のセントラルクイーンズランド大学と下記の共同検討について覚書を締結し、技術開発及び社会実装に向けた取組みを進めています。

共同検討内容

- ・地産素材を活用した低炭素で生物の共生を促進できる素材開発と海洋ブロックの社会実装を進めていくこと。
- ・この活用によりコンクリート関連工事から発生するCO₂を低減し、また、海藻類の付着により固定されるCO₂（ブルーカーボン）を増加させる手法を構築し試行していくこと。

MOU

